

# 医療 健康

## 市民の健康増進へ向けて 健康都市宣言を行う考えは

原 邦彦議員(公明) ①小平市健康都市宣言を行う考えは。②グリーンロードやスポーツ施設、大学等の教育機関との連携、健康フェスティバル(下段は生活習慣病予防コーナー)



携など、あらゆる機会を活用して健康事業を推進する考えはないか。

③市民健康デーとして市民の健康意識向上につながる事業を再構築してはどうか。

市長 ①保健事業連絡協議会の中で議論していきたい。

②健康資源を活用した健康づくりを進めていきたい。

③健康教室や健康フェスティバル等を実施して啓発をしているが、一層の工夫が必要なため、さらに研究を進めたい。

# 教育・文化

## 学校校庭芝生化1年の 検証と今後の対応について

佐野都夫議員(政和) ①芝生化事業の課題は何か。

②今後はどのように整備し、管理をするのか。

教育長 ①気象と芝生の育成状況を予測した管理方法や、利用と養生のバランスをとること等が課題である。

②学校と調整中であるが、平成19年6月に種まき等を行って再生を目指すとともに、十分な養生期間を設ける計画である。

今回の経験を生かし利用者等に満足される芝生化を目指したい。

小平市での子どものいじめ教師のいじめの実態は

木村まゆみ議員(共産) ①市立小・中学校のいじめと不登校の状況は。

②実態把握の方法は。

③学校は教師が互いに高め合い支え合い教え合う関係になっているか。

④子どもや校長、教員の自殺をどう受けとめているか。教育長 ①いじめは平成18年6

月の1か月間で小学校28件、中学校5件、不登校は1学期でそれぞれ37人、112人となっている。

②調査、聞き取り、観察を行い学校からの報告も受けている。

③互いに資質を高め合う組織になっていると考える。

④あつてはならないことであり、全力で防止に努める。

## いじめ 対策 小平の実態と対応は

鴨打喜久男議員(政和) ①市立小・中学校でいじめとして対応した件数は。

②対応マニュアルがあるか。

③解決方法は。教育長 ①平成16年度は小学校6件、中学校9件、17年度は小学校9件、中学校5件である。

②国や都の資料をマニュアルとして活用している。

③いじめを受けた側、した側、学級全体など、対象に応じた指導を行っている。再発防止のために、解決後の経過観察や保護者との連携も強化しており、いじめは絶対に許さないという姿勢で指導を徹底することが大切と考える。

## いじめ 問題に どう取り組みむか

浅倉成樹議員(公明) ①いじめ問題の現状と解決策は。

②市独自にいじめ撲滅宣言をするとともに、早期発見対策本部を設置して、あらゆる角度からトータルに取り組むシステムを構築できないか。

教育長 ①いじめはどの学校でも起こりうると認識している。学校が保護者や関係機関と連携し、繰り返し継続的に指導する

ことで解決を図っている。

②現状では教師による発見、児童・生徒からの訴え、保護者からの訴えによりいじめが発見されており、対策本部のようなシステムが校内で機能している

ことから、宣言や対策本部の設置は考えていない。

## 帰国児童生徒教室の検証と 国際化への対応について

佐野都夫議員(政和) ①帰国児童生徒教室事業の21年間の成果と課題は。

②外国人向けのくらしのガイドを新しくつくる予定は。

③国際化に対応したまちづくりの基本的な考え方や具体的な事業計画は。教育長 ①日本での学校生活への適応により影響を与えている。課題は、より適切な学校生活への適応や貴重な海外在住経験の生かし方等である。

市長 ②平成16年度に英語版と中国語版をそれぞれ800部ずつ増刷した。

③市国際交流協会を中心に、日本人と外国人が共生できる社会づくりを進めていきたい。具体的には日本語教室や相談事業等を実施している。

## 発達障害・障害・障害傾向児に 対し子ども本位の教育と支援を

齊藤 進議員(フオ) ①花小金井近辺の中学校に心障学級を設置できないか。また中学校にも介助員をつけるべきでは。

②待機児童が市外施設に通う場合、負担軽減できないか。

③就学相談で親などが専門家を同席させ助言させるメンター制度を導入できないか。

教育長 ①新設を検討している。介助員の配置はないが、宿泊学習等には看護士を配置している。

市長 ②負担軽減策については、実施者である都が判断をする。

教育長 ③心身障害児等の就学は法令等で障害の種類や程度等に応じて総合的に判断する就学指導委員会が重要なので、今後この委員会で就学相談を行う。

## 道路

水川通りの用水路を活用した道路整備について

華表 暁議員(共産) ①用水路活用計画の基本的な考え方は変わっていないか。

②整備懇談会ではどのような意見が出されたか。

③第1期工事の計画は。市長 ①変わっていない。

②歩道の両側設置、道路の一方通行化、通過車両の通行量減少と車両のスピード抑制等の意見があった。

③平成18年12月末までに道路南側のL型側溝、1月からは用水路本体等を施工し、3月中旬には完成の予定である。

## L型側溝が整備された水川通り



第一住宅花小金井団地自治会の市道整備と雨水対策の実施計画

高橋 勇議員(民リ) ①市道を受け入れて何年経過したか。また自治会への対応は。

②先行してU型側溝をL型側溝にかえられないか。

③整備費用と予定は。市長 ①13年経過しているが、雨水処理の排水管が整備された後に道路整備をしたいと説明している。

②集水ますの排水処理等の課題があるため難しい。

③雨水排水施設と道路整備を含めて約4億5千万円を見込んでいる。事業規模が大きいため、予定を示すのは困難である。

第一住宅花小金井団地自治会の市道(花小金井五丁目)



## 花小金井四丁目市道第C-56号線の道路整備について

高橋 勇議員(民リ) ①この道路の総延長と改修工事費は。

②簡易的な工事による費用は。

③道路両側の草の繁茂状況は。④老朽化が進んでいるので改善してほしいがどうか。市長 ①約463mで、L型側溝を設置し舗装を全面改修した場合約5千万円かかる。

市道第C-56号線 (花小金井四丁目)



②既存舗装の上に新しくアスファルト舗装した場合は、約1千5百万円かかる。

③畑の際の除草については所有者に依頼し、道路部分は市で除草を行った。

④雨水の排水管の整備後に道路整備を行うことが抜本的な改善方法と考えるが、当面は路面の損傷が進んでいるところから修繕をしたい。

シルバー人材センターが管理する自転車駐車場の労働内容

橋本久雄議員(緑ネ) ①勤務時間以降に売上金を金融機関に入金させているが、この業務については勤務時間にカウントしないのか。勤務時間にカウントした場合、最低賃金を下回ることにならないか。

②シルバー人材センターの仕事内容を把握し、指導すること必要ではないか。

市長 ①請負または委任契約により会員が仕事を引き受けているため、労働基準法や最低賃金は適用されない。就業に関してはセンターと会員の問題ととらえている。

②今後も指定管理者の業務内容を把握し、必要な指示を行って効率的な運用に努めたい。

通学 路の交通安全対策について

苗村洋子議員(緑ネ) ①横断歩道・信号機設置の検討方法や優先順位は。

②通学区域の変更や通学路の状況が変わる場合の交通安全対策はどうか。

市長 ①市も設置要望をしているが、交通管理者からは交通安全と円滑化を柱に、交通状況や施設設置に必要な立地条件などのさまざまな要因を総合的に判断していると聞いている。

教育長 ②通学区域の変更に伴って対策が必要な場合は、関係課で検討し対応する。商業施設が開発される場合などは、事業者に安全確保を要請し必要な対策を講じてもらっている。

津本裕子議員(公明) ①スピード抑制に対する施策は。

②境緑道等の自転車と歩行者の安全施策は。

③自転車運転免許証の検討は。

④歩道の死角を解消するためカーブミラーを設置すべきでは。市長 ①道路面に自転車ストップマークを標示し、走行方法等の啓発も行っている。

②自転車利用者に歩行者が優先である旨を呼びかけていく。

③小学生を対象とした自転車教室には多くの参加があることから、目的は達成されているものと考えている。

④多くの要望があるため、設置箇所の検討を進めている。